

▼一般社団法人緑の循環認証会議(新法人)平成23年度臨時社員総会議事（設立総会）

平成23年度 臨時社員総会

日 時 平成23年12月14日（木）13時30分～  
場 所 永田町ビル（社）日本治山治水協会 会議室  
（東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4階）

社員総会、理事会及び評議委員会 議事 抜粋

標記の臨時社員総会において下記の通り議案（抜粋）が提案され、原案の通り、議決された。

議案第1

理事・監事の選任及び名誉会員の推薦について（略）

議案第2 定款について

一般社団法人緑の循環認証会議 定款 （略）

議案第3 旧『緑の循環』認証会議の認証事業及び財産の継承について

旧『緑の循環』認証会議の認証事業及び次の財産について継承する。  
継承する金額は、0円、その他の資産はなし。

認証森林・C o C管理事業体は、（資料：1）一覧表のとおり。（略）

議案第4 入会申込書、正会員及び賛助会員の入会金及び会費の額並びに脱会届について

附属文書1-1入会申込書様式、同1-2正会員及び賛助会員の入会金及び会費の額並びに附属文書1-3脱会届の様式（別冊）の通りとする。（略）

報告

平成23年度事業計画（平成23年11月24日～平成24年3月31日）について

平成23年度事業計画

（平成23年11月24日から平成24年3月31日）

昨今、森林に対しては、国土保全等の属地的な公益機能と併せて、CO<sub>2</sub>の吸収・固定機能等の地球環境保全や生物多様性保全などグローバルな機能に強い関心が寄せられている。

このような中で、SGEC認証制度は、その活発な活動によって、持続可能な森林経営の実現と認証材ネットワークの構築による簡素で合理的な木材流通機構への改善に資する制度として期待されている。このことを通じて、市民・消費者に認証材の時宜を得た選択的購買機会を提供し、また、同時に、国産認証製品市場の活性化を促すことにより、停滞する国内林業・木材産業の振興はもとより、地域の森林管理水準の向上に寄与することができる。

SGEC認証制度は、創設以来すでに8年が経過し、国内森林認証制度としての基礎的な制度基盤は構築されているが、今次は、その上に立って、各般にわたる検討結果を踏まえ、新生SGEC認証制度として再構築を図りその全国的な展開を進め、我が国に相応しい認証制度として期待に応えることができるよう、新しいステージに力強く歩を進める。

このような観点から、今年度は、既に残された期間は少ないが、新生SGEC認証制度の周知期間として積極的に普及活動を推進し、広く市民・消費者を含むステークホルダーに新制度の周知を図る。

また、昨今のグリーンコンシューマーイズムを背景とした市民・消費者の消費性向に即応できるよう、認証材製品・住宅等を提供する地域のSGEC認証材ネットワークの構築に向けて積極的に普及・支援活動を展開する。

## 1 SGEC認証制度の見直しとその周知

「SGEC認証制度の見直しについて」（別掲）を指針として見直しを行うSGEC認証制度の管理運営に関する文書、森林管理認証基準・指標・ガイドライン、COC認証ガイドラインに基づき新生SGEC認証制度の見直しを行いその着実な普及に努める。

特に普及活動については、次の事項を積極的、かつ効果的に実施する。

- ①ステークホルダーを対象とした新制度の説明会の開催
- ②各種会議、フォーラム、セミナー等に参加し、新制度の説明
- ③マスコミ、インターネット等を通じた新制度の普及・啓発

## 2 認証森林と市民・消費者とを結ぶSGEC認証材ネットワークの活性化

SGEC森林管理認証やCOC認証の活動が活発化しつつある地域に対して、現地に即した新制度の普及活動や専門家の協力によるコンサルティングを強化し、森林管理認証の普及・拡大と併せて、COCの整備による地域認証材と消費者とを結ぶネットワークづくりを支援する。

### 3 国際認証機関との相互承認の検討について

世界の森林認証がFSCとPEFCに二極化してきている中において、SGECとしては、今回の認証制度見直しの普及・定着を図り、認証制度としての完成度を高めつつ、次の段階として、SGEC認証制度のアイデンティティーの堅持を前提に、国際森林認証管理機関との相互承認について検討を進める。

一般社団法人緑の循環認証会臨時社員総会（議設立総会）資料

平成23年12月14日

一般社団法人緑の循環認証会議

資料：1 一般社団法人緑の循環認証会議 定款（略）

資料：2 SGEC 認証制度の見直しについて（別掲）

資料：3 SGEC 認証制度の管理運営に関する文書（略）

資料：4 SGEC 森林管理認証基準・指標・ガイドライン（略）

資料：5 SGEC・COC 認証ガイドライン（略）

資料：6 附属文書 技術文書（略）